

2027年度
日本弁理士会役員定時選挙

会 長
候補者

ほ ん だ け い こ
本多 敬子

日 弁 日本弁理士クラブ
 (日弁) 推薦

これまでの歩みを大切に
受け継ぎ、AI時代にふさわしい
弁理士の新たな価値とともに
築いてまいります。

**継承から、
未来への挑戦。**

会長
候補者

ほんだ けい こ 本多 敬子

弁理士制度と会務は、多くの先輩方が築き上げてこられた努力の積み重ねの上に成り立っています。その歩みを大切に受け継ぎながら、AIの急速な進展など大きな環境変化にも的確に対応し、弁理士の新たな価値を創り出していくことが、これからの私たちに求められていると考えています。

私は、AIを実務に生かすための環境整備や情報発信を進めるとともに、高度な知財戦略や課題解決を担う専門家としての価値をさらに高め、適正な評価につながる仕組みづくりにも取り組みます。また、弁理士が社会や企業に貢献できる力を積極的に発信し、職域の拡大と信頼の向上を目指します。

会員の皆様のお声に真摯に耳を傾け、「継承」と「発展」を両輪として、未来につながる弁理士会を皆様とともに築いてまいります。

略 歴

【弁理士登録】

昭和 63 年 4 月 第 9616 号

【学歴】

青山学院大学法学部私法学科 卒業

【職歴】

昭和 56 年 4 月～昭和 63 年 8 月 杉村萬国特許事務所
昭和 63 年 9 月～平成 10 年 8 月 ユアサハラ法律特許事務所
平成 10 年 9 月～ 本多国際特許事務所

【日本弁理士会活動歴】

役員歴

平成 9、10 年度 常議員
平成 25、27 年度、令和 6 年度～ 執理事
平成 28～29 年度 副会長

委員会歴

平成 11 年度 意匠委員会 副委員長
平成 18 年度 著作権委員会 副委員長
平成 24 年度 商標委員会 委員長
令和 4 年度 次年度人事検討委員会 委員長
その他副委員長、委員を多数期

【公職歴】

平成 19、20 年度 経済産業省 不正競争防止法調査員

【その他の活動歴】

平成 24 年度～現在 日本商標協会 理事
平成 28～30 年度 AIPPI Japan 理事
平成 28～30 年度 日本知的財産翻訳協会 副理事長
平成 30 年度～現在 FICPI Japan 理事
令和 3 年度～現在 AIPPI Japan 理事
令和 4 年度～現在 日本商標協会事務局長補佐

【その他の所属団体】

日本商標協会
国際弁理士連盟日本協会 (FICPI JAPAN)
日本国際知的財産保護協会 (AIPPI JAPAN)

【表彰】

日本弁理士会内表彰9回



3つの重点政策

第1の重点政策 AI時代における主導権の確保

～AIを使いこなし、知財実務と制度設計をリードする～

AI時代においても弁理士が知財実務の中心であり続けるため、AIを「使う側」にとどまらず、「AI時代を設計する側」として主導権を確保します。

1 AI・DX推進体制の整備

- ・AI・DX委員会を創設し、組織横断で知見を集約・共有します。
- ・AI利活用ガイドラインを高度化し、生成AIのユースケースを整理・展開します。
- ・AI関連実務ノウハウを体系化し、会員のAIリテラシー向上を図ります。

2 外部機関との連携強化

- ・特許庁、JIPPA等との情報交換体制をさらに進化させます。
- ・最新知見を迅速に共有できるルートを構築します。

3 制度設計への主導的関与

- ・生成AIを活用した知財実務モデルを整理します。
- ・特許庁・産業構造審議会等との連携を強化し、法改正や制度設計に積極的に関与します。
- ・知財業務に生成AIを「使う側」から、「ルールメーカー」への転換を目指します。

第2の重点政策 適正な対価を得る構造の確立

～「作業への報酬」から「価値への報酬」へ～

高度な判断や戦略、ソリューション提案に適正な対価が支払われる環境を整備し、弁理士の専門的価値を適切に評価される仕組みを構築します。

1 適正報酬の実現

- ・適正報酬WG（仮称）を設置し、知財制度全体の持続性、人材確保、国際競争力の観点から検討します。
- ・タイムチャージ、価値ベース報酬など多様な報酬モデルを検討します。
- ・国際相場を踏まえた報酬水準について議論します。

2 サービスの価値向上

- ・有料化推奨サービスリストを作成します。
- ・有料化への移行マニュアルを整備し、サービスの適正な有償化を支援します。

第3の重点政策 リスキリングとセルフブランディング

～「資格保有者」から「価値提供者」へ～

専門性を再構築するとともに、自らの価値を社会に伝える力を育成し、「何ができるか」で選ばれる弁理士を目指します。

1 リスキリング支援

- ・AI・DX、国際、知財経営、GXなど価値の高まる分野での専門性の再構築を支援します。
- ・AI時代でも基本となるヒアリング力・明細書作成能力などの実務力を高めます。

2 セルフブランディング支援

- ・「誰に、どの価値を、どのように提供するか」を社会に伝える力を育成します。
- ・専門性を市場に対して明確に示せる弁理士を支援します。

3 キャリア形成支援

- ・組織内弁理士向け研修を拡充します。
- ・JETRO・WIPO派遣支援を通じ、国際的な視野と経験を持つ弁理士を育成します。
- ・ロールモデルとの連携により、成功事例だけでなく、努力のプロセスや専門性の高め方も共有します。

副会長候補者

むなかたたかし

宗像 孝志

知財の専門家の誇りを胸に、
新時代を力強く切り拓きます！

私が大切にしたいのは、変化に流されるのではなく、変化を味方につけるという姿勢です。専権業務の質を高めながら、新技術や新たな業務スタイルにも積極果敢に取り組み、知的財産の専門家である我々弁理士の価値を社会全体に広めることを目指します。

私は、新技術が次々と生まれる今の時代を『弁理士にとって大きな挑戦ができる時代であると同時に、またとない好機である』との立場をとり、会長候補の政策実現に向け、粉骨碎身の覚悟で会務にあたる所存です。発達する生成 AI を脅威と認定しつつも、知的財産の専門家である弁理士の価値をさらに高める力強い追い風とするよう、会員の皆様と共に変化の波を乗り越え、知財の未来を力強く切り拓くことが、私の所信であり、使命であると認識しています。皆様の力強いご支援を心よりお願い申し上げます。



略歴

平成元年	育英工業高等専門学校 電気工学科 卒業	令和 4 年度～令和 5 年度	日本弁理士会常議員
平成 25 年	弁理士登録	令和 5 年度～令和 7 年度	工業所有権審議会試験委員
平成 28 年		令和 5 年度～令和 7 年度	例規委員会
	武和国際特許事務所（現：弁理士法人武和国際特許事務所）入所	令和 7 年度	防災会議 議長
平成 29 年度～令和 5 年度	特許委員会	令和 8 年度	日本弁理士会副会長
平成 30 年			
	金沢工業大学大学院 工学研究科 知的創造システム専攻（修士課程）修了		

副会長候補者

ほりごめよしのり

堀籠 佳典

未来への一步：変化を見据え、
弁理士に力を！

弁理士を取り巻く環境は、AI の進展、事業環境の変化、国際化の中で大きく変わりつつあります。こうした時代に、弁理士が、弁理士が権利取得にとどまらず、知財活用、中小企業・スタートアップ支援、地域・大学・研究機関との連携、AI 時代の業務環境整備などの場面で一層力を発揮できるよう施策に取り組みます。私は、本多敬子会長を誠実に支え、会員の皆様の声に丁寧に耳を傾けながら、地に足のついた会務運営に尽くしてまいります。また、若手・中堅会員を含め、多様な会員が会務に参加しやすい環境づくりにも努めます。日本弁理士クラブで長く育てていただいた経験を胸に、皆様のご期待に少しでもお応えできるよう、誠実に職責を果たしてまいります。皆様からの温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。



略歴

平成 2 年	東京工業大学（現東京科学大学）理学部数学科 卒業	令和 29 年度～30 年度	日本弁理士会執行理事
平成 10 年	弁理士登録（第二東京弁理士会）	令和 4 年度～5 年度	知財活用検討委員会委員
平成 15 年～16 年	米国デューク大学ロースクール修了（LL.M.）	令和 5 年度	日本知的財産仲裁センターセンター長
平成 19 年	弁理士登録	令和 6 年度～7 年度	知財活用検討委員会副委員長
平成 20 年度	広報センター副委員長	令和 8 年度	知財活用検討委員会委員長
平成 24 年度～25 年度	日本弁理士会常議員 / 日本弁理士会執行理事		
平成 26 年度、28 年度	弁理士法改正委員会副委員長		
平成 27 年度～28 年度	特許委員会副委員長		

弁理士会に登録されている氏名は「宗像 孝志」、「堀籠 佳典」ですが、投票用紙には「むなかたたかし」、「ほりごめよしのり」とお書きいただくことができます。

副会長候補者

とくもと こういち
徳本 浩一

弁理士がさらに活躍できる未来に向けて！

生成AIの技術進歩等によりビジネス環境は大きな変化に晒されており、弁理士もまたこのような変化に対応して、より高いレベルでクライアントや市場に知財を送り届けることが重要となってきています。私は、これまで幸運にも、執理事務をはじめとした会務経験、独立開業や事務所経営等の経営者としての経験、中小・スタートアップ企業、さらには、研究機関や大企業の知財支援等の実務経験を積む機会をいただきました。これらの経験を活かして、弁理士の持つ価値を高いレベルで市場に提供し、社会課題解決等に貢献すべく、副会長として一つ一つの課題に取り組んでいく所存です。本多敬子会長立候補者と共に、今後訪れる新しい時代が、弁理士がさらに活躍できる環境となるよう全力で努めて参ります。皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



略歴

平成 9 年
平成 11 年

中央大学 理工学部 精密機械工学科 卒業
中央大学大学院 理工学研究科
精密工学専攻 博士前期課程修了
弁理士登録（登録番号第 17037 号）
知的財産経営センター 運営委員
防災会議 副議長
国立大学法人東京農工大学農学部 非常勤講師
防災会議 議長

令和 6～7 年度
令和 6～7 年度
令和 7 年度
令和 8 年度

日本弁理士会 常議員
防災会議 委員
特許委員会 委員
日本弁理士会 執行理事

平成 22 年
令和 4～5 年度
令和 4 年度
令和 4 年度
令和 5 年度

副会長候補者

はやし ひろき
林 裕己

生成AIを活用して、新たな付加価値の創造を！

日経平均株価が6万円を超え、円安・インフレの進行、そして金利ある世界の到来など、私たちはかつてない変化の時代を迎えています。このような激動の時代だからこそ、弁理士の未来を担う日本弁理士会の役割は、これまで以上に重要です。

また、生成AIの急速な進展は、弁理士の価値を問い直す一方で、新たな可能性ももたらしています。私は、これを好機と捉え、生成AIを活用して弁理士ならではの新たな付加価値を創造していくことが必要だと考えています。

研修所、広報センター、関東会などで培った知見と経験を活かし、会員の皆様の声を迅速に施策へ反映し、その成果を業務の発展という形で還元してまいります。皆様のご支援を心よりお願い申し上げます。



略歴

平成 10 年
平成 10 年

九州大学工学部応用物質化学科 卒業
九州大学大学院工学研究科 退学
弁理士登録（登録番号第 16748 号）
研修所運営委員
広報センター運営委員
常議員
弁理士制度 120 周年記念事業実行委員会委員
研修所副所長

令和 5 年度～令和 6 年度
令和 7 年度
令和 8 年度
令和 8 年度

研修所運営委員
関東会研修対応委員会委員長
研修所副所長
関東会副会長

平成 22 年
平成 23 年度～令和 2 年度
平成 24 年度～令和 3 年度
平成 28 年度～平成 29 年度
令和 1 年度
令和 3 年度～令和 4 年度

副会長候補者

ひさまつようすけ

久松 洋輔

変化を力に。弁理士一人ひとりの
強みを、新たな価値へ。

生成 AI の進歩は、弁理士の仕事の進め方に大きな変化をもたらすとともに、私たちが知的財産の専門家として社会にどのような価値を届けるのかを改めて見つめ直す契機でもあります。若手、ベテラン、企業内弁理士、事務所弁理士をはじめ、活動地域や所属先の形態・規模を問わず、すべての会員が自らの強みを生かし、新たな役割への挑戦に踏み出せるよう、後押ししたいと考えています。そのため、生成 AI を適切に活用するための環境づくりを進めるとともに、会員が培ってきた知識・経験を共有できる機会を広げます。会員の皆様の声に真摯に耳を傾け、会長や他の役員と力を合わせ、皆様が安心して一步を踏み出せるよう、必要な取組を地道に、誠実に進めてまいります。何卒ご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



略歴

平成 14 年

平成 18 年

平成 21 年

平成 22～24、28、29、令和 2 年度

平成 25、30、令和 2、6、7 年度

令和元年度

令和 3、4 年度

令和 3、5 年度

筑波大学 第二学群 生物資源学類 卒業

筑波大学大学院 生命環境科学研究科 修了

弁理士登録（登録番号 16088 号）

バイオ・ライフサイエンス委員会 委員

特許委員会 委員

執行理事

日本知的財産仲裁センター 運営委員（本部）

知財活用検討委員会 副委員長

令和 5 年度

令和 7、8 年度

令和 7、8 年度

令和 7、8 年度

令和 8 年度

イベント開催 WG WG 長

例規委員会 副委員長

知的財産経営センター 運営委員

常議員

特許委員会 副委員長

常議員・監事候補者

関東選挙区・常議員候補者

樺澤 聡 (登録番号: 第 9256 号、南甲弁理士クラブ所属)

高松 俊雄 (登録番号: 第 9832 号、無名会所属)

二宮 浩康 (登録番号: 第 13563 号、PA 会所属)

杉村 憲司 (登録番号: 第 14748 号、PA 会所属)

松橋 純裕 (登録番号: 第 14822 号、稲門弁理士クラブ所属)

吉田 昌司 (登録番号: 第 15220 号、春秋会所属)

川崎 慎治 (登録番号: 第 15753 号、PA 会所属)

浅村 昌弘 (登録番号: 第 17295 号、PA 会所属)

中山 健太郎 (登録番号: 第 20909 号、南甲弁理士クラブ所属)

大坂 尚輝 (登録番号: 第 21361 号、南甲弁理士クラブ所属)

渡邊 芳則 (登録番号: 第 21370 号、春秋会所属)

西川 喜裕 (登録番号: 第 22429 号、無名会所属)

小野 康成 (登録番号: 第 22445 号、春秋会所属)

遠藤 華英 (登録番号: 第 22823 号、春秋会所属)

東海選挙区・常議員候補者

小西富雅 (登録番号: 第 9557 号、PA 会所属)

林 崇朗 (登録番号: 第 12900 号、春秋会所属)

監事候補者

金本哲男 (登録番号: 第 9638 号、南甲弁理士クラブ所属)

渥美 久彦 (登録番号: 第 11460 号、春秋会所属)

大貫敏史 (登録番号: 第 10934 号、稲門弁理士クラブ所属)

投票のお願い：投票方法は、郵便投票（到達主義）のみで、投票期間は、
令和8年9月19日(土)～10月8日(木)午後5時到着までです。

私たちは、日本弁理士会会長として、本多 敬子さんを推薦します。

●石原 進介（日本弁理士クラブ 幹事長）

本年度、日本弁理士クラブは、次期日本弁理士会会長候補として当クラブ加盟のP A会に所属の本多敬子さんを推薦することを決定いたしました。本多さんは、日本弁理士会副会長をはじめ数々の要職で培った会務への深い知見に加え、庁・企業・学界・海外に広がるネットワークをお持ちです。何より、あらゆる世代から「この人と一緒に働きたい」と慕われるお人柄と決断力の持ち主です。生成AI時代の激変期にあって、弁理士会を共に未来へ導くリーダーとして最適任であり、ここに推薦いたします。

●谷 義一（日本弁理士クラブ 常任相談役／日本弁理士会元会長）

本多敬子さんのいるところ、微笑みを絶やさず、常に明るく話に花が咲き、皆の意見を前向きにうまく集約し、加えて、どっしりと構えた、外柔内剛の弁理士であります。すでに副会長としての経験も積み、その仕事に対する真摯な取り組み、弁理士に寄り添う気持ちを懐深く持ち、信頼、期待に足る弁理士であります。

目まぐるしいAI革命に巻き込まれ、激動の日本弁理士会にとって、ジャンヌダルクのような本多敬子さんを、時代が呼んでいます。

有能な弁理士の仲間と共に一体となって、これまでの豊富な経験と実力を発揮し、その強力なリーダーシップの下、AIの活用、高度な判断業務も含めて弁理士としてのより高度な価値を提供することなど、本年度の施策の継続と時代に合わせた内外での更なる発展を目指し、会員のための弁理士会会長として、2年間の会務運営を行うことを本多敬子さんに託しましょう。是非とも、貴重な一票を本多敬子さんに投じてくださいますようお願いいたします。

●清水 善廣（日本弁理士クラブ 常任相談役／日本弁理士会元会長）

本多敬子さんは、日本弁理士会の副会長を2期、執行理事を4期、常議員を2年歴任され、現在5期目の執行理事としてご活躍中で、日本弁理士会の役員としての経験が豊富であるだけでなく、国際活動センター長として国際関係にも精通され、商標委員会委員長、意匠委員会副委員長、著作権委員会副委員長なども歴任され、様々な専門分野での見識も豊富です。そしていつも元気で太陽のような明るい笑顔で周りの人々を引き付ける大きな求心力を備えた方です。とても芯も強く、そんな本多敬子さんは周りの様々な人々を大きな一つの力にまとめあげ、我々の目の前に現れた生成AIに立ち向かい、理想的な共存関係を見つけていただけるものと信じます。2年間の任期をフル稼働で我々を引っ張り、継ぎ、創り、明るく夢のある弁理士の未来を実現していただけるものと確信し、本多敬子さんを日本弁理士会会長に推薦します。

●伊丹 勝（日本弁理士クラブ 常任相談役／日本弁理士会元会長）

本多敬子さんとは、平成28年度の執行役員会で、会長、副会長として一年間一緒に仕事をさせて頂きました。本多敬子さんは、飾らないさばさばとした親分肌の性格で、ベテランから若手に至るまで幅広く人望があり、知財制度、弁理士制度に対しても、問題意識を持ったリーダーに相応しい人物です。これまで日本弁理士会の副会長や執行理事、国際活動センターのセンター長などを歴任され、組織運営や会務にも精通しております。変化の激しい難しい時代に、多くの人の意見を耳を傾けながら、バランス良く日本弁理士会のかじ取りを担っていくリーダーとして、本多敬子さんの活躍を大いに期待しております。

●鈴木 一永（日本弁理士クラブ常任相談役／日本弁理士会前会長）

令和9年度日本弁理士会会長に本多敬子さんを推薦いたします。本多敬子さんは、弁理士業務の経験はもとより、日本弁理士会の副会長、同執行理事などの役員経験が豊富で、弁理士会の活動に精通されている方です。さらに本多さんは長年の会務活動を通じて、ベテランから若手に至る多くの弁理士とともに活動をしてきた経験があることから、日本弁理士会全体を見て会務活動を推し進めることができる人です。私共弁理士を取り巻く環境が大きく変わりつつある現代において、日本弁理士会のかじ取りを任せるにもっともふさわしい方であると確信いたしております。ぜひ皆様の本多敬子さんへのご支持をお願い申し上げます。

●杉村 純子（日本弁理士クラブ 常任相談役／日本弁理士会元会長）

会長候補の本多敬子さんは、これまで日本弁理士会の会務に積極的に参加され、活躍されていらっしゃいました。現在のAI・DXの急速な進化に伴い、物理空間とAIとが融合され、人の業務の一部がAIに代替されること等によって、社会の在り方が大きく変わり、産業構造も大幅に変革されてきています。このような環境下で、今後の知財プロフェッショナルとしての弁理士の社会的責任についての在り方、そして日本弁理士会が持続的に発展していくための今後の道筋について検討し、我々を明るく未来に導いてくれる人であり、ここに推薦いたします。

弁理士春秋会

佐藤辰彦、高橋祥泰、青木篤、岩壁冬樹、長濱範明、岩倉民芳、高城貞晶、平山淳、高橋昌義、大澤豊、須藤晃伸、木戸良彦、出野知、太田昌孝、吉田信彦、河野上正晴、堀田幸裕、松野仁彦、荒井滋人、藤本尚、加曾利正典、百武幸子、櫛淵亮彦、栗田由貴子、加島広基、稲垣朋子、和田直斗、綿貫力、賀澤正宏、宇田川貴央、小川佑太、塩見秀明、中山彩

南甲弁理士クラブ

千旦和也、矢島裕之、竹内詩人、森貴信、曾根玖司、地引珠莉、浅見浩二、齋藤仁美、榊原靖、平井沙恵子、井上佳知、樺澤聡、藤沢昭太郎、大塚啓生、苫米地正啓、水野祐啓、三浦高広、伊丹壮一郎、長江明奈、山中遥加、西田聡子、山崎由香里、金本哲男、中村仁

無名会

下坂スミ子、吉田研二、筒井大和、峯唯夫、水野勝文、羽鳥巨、富崎元成、高松俊雄、黒川恵、香原修也、米山尚志、佐藤卓也、宮嶋学、和田光子、鈴木一永、齋藤康、香坂薫、竹本如洋、本間博行、石原進介、竹山尚治、小川一、亀崎伸宏、須藤大輔、湯浅竜、篠原淳司、前田健一、原田耕米、今村秀世、羽鳥慎也、金森寛、松田隆子、高山章子、岡崎真洋

稲門弁理士クラブ

稲木次之、高橋英樹、小西恵、榎本英俊、西村公芳、中村恵子、吉田正義、窪田稚之、松橋純裕、綾木健一郎、藤坂恭史、飯塚健、西脇怜史、寺尾康典、浅田信二、植田晋一、吉澤大輔、高橋伸也、小池圭二郎、中村聡、小田切康人、古田篤史、本間憲之

P A会

浅村皓、谷義一、村田実、大西正悟、福田伸一、渡邊敬介、柳田征史、篠田卓宏、高橋雅和、中尾直樹、鈴木大介、佐藤玲太郎、渡邊伸一、前田大輔、田中秀幸、帯包浩司、福井敏夫、杉村光嗣、武田雄人、田中有希、板垣忠文、安高史朗、一色和郎、生塩智邦、栗河剛、松村直樹、山本修、今井優仁、小西富雅、竹村恵一、伊藤孝太郎、谷水浩一、岩見晶啓